



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社光ハイツ・ヴェラス 上場取引所 札
コード番号 2137 URL <http://www.varus.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 千恵香
問合せ先責任者 (役職名)財務経理部部长 (氏名)前田 寿徳 (TEL)011-520-8668
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,303	△0.2	31	△26.7	54	1.1	42	50.2
2022年3月期第3四半期	2,307	△1.9	42	△66.0	54	△55.8	28	△62.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	20.35	—
2022年3月期第3四半期	13.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,712	3,647	47.3
2022年3月期	7,485	3,630	48.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,647百万円 2022年3月期 3,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	3.7	120	94.8	150	91.5	100	36.5	47.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,089,200株	2022年3月期	2,089,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,089,200株	2022年3月期3Q	2,089,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期第3四半期における経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や世界的な物価の上昇の影響を受けながらも、景気は国内外共に停滞から少しずつ回復の兆しが見えてきました。日本国内におきましては、コロナ禍以前の経済活動に持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染拡大の収束の目途は立たず、先行きについては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。介護業界におきましても新型コロナ感染拡大、円安や原材料価格の高騰による運営コストの上昇が続き、経営不振傾向の中小事業者の休業・倒産が目立つ状態です。

当社有料老人ホーム事業については、前期に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止についての対応を継続しています。新型コロナウイルスワクチンの接種を早期に完了し、外部との接触を制限、消毒の徹底、職員各自の自粛促し等を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めています。介護付き有料老人ホームは、施設入居中の顧客に対するサービス提供という業態である為、上記対策による売り上げへの影響は軽微です。住宅型有料老人ホーム2施設については、既存の外部事業者による居宅サービス利用が困難になった顧客について、当社通所サービス事業所の定員拡大により受け入れを行いました。これにより、感染拡大予防と通所サービス事業の売り上げ向上を同時に達成できました。

新規顧客獲得については、感染症対策を適切に行いながらの営業活動を継続しております。新たにショートステイ受入可能施設を増やし、個別見学会や相談会等を行い、入居後につきましてもご入居者のニーズに応じた住み替えなどのきめ細やかな対応を行いました。結果、全施設平均入居率約90.1%を維持・確保いたしました。

以上の結果、当第3四半期における売上高は2,303百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益31百万円（前年同期比26.7%減）、経常利益54百万円（前年同期比1.1%増）、四半期純利益42百万円（前年同期比50.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は6,549百万円となり、前事業年度末に比べ256百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は1,163百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は、7,712百万円となり、前事業年度末に比べ226百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は971百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に入居金預り金が増加したことによるものであります。固定負債は3,093百万円となり、前事業年度末に比べ200百万円増加いたしました。これは主に長期入居金預り金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,647百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に繰越利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.3%（前事業年度末は48.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,705,507	5,991,285
営業未収入金	441,014	413,466
商品	2,200	3,246
未収還付法人税等	17,293	-
その他	126,455	141,416
流動資産合計	6,292,471	6,549,414
固定資産		
有形固定資産		
リース資産 (純額)	306,108	286,363
その他 (純額)	216,351	210,287
有形固定資産合計	522,460	496,651
無形固定資産		
リース資産	29,243	21,597
その他	7,171	7,045
無形固定資産合計	36,414	28,642
投資その他の資産		
その他	636,449	639,809
貸倒引当金	△1,863	△1,863
投資その他の資産合計	634,586	637,945
固定資産合計	1,193,461	1,163,239
資産合計	7,485,932	7,712,654

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	-	8,222
入居金預り金	413,221	425,629
介護料預り金	41,449	42,105
賞与引当金	17,395	8,095
その他	390,310	387,124
流動負債合計	962,376	971,177
固定負債		
長期入居金預り金	2,078,375	2,276,860
長期介護料預り金	213,608	227,682
退職給付引当金	48,515	49,413
役員退職慰労引当金	44,931	47,666
その他	507,582	491,865
固定負債合計	2,893,013	3,093,488
負債合計	3,855,390	4,064,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	686,296	686,296
資本剰余金	566,296	566,296
資本準備金	566,296	566,296
利益剰余金	2,377,949	2,395,394
利益準備金	3,855	3,855
その他利益剰余金		
別途積立金	384,000	384,000
繰越利益剰余金	1,990,094	2,007,539
株主資本合計	3,630,542	3,647,988
純資産合計	3,630,542	3,647,988
負債純資産合計	7,485,932	7,712,654

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,307,537	2,303,254
売上原価	2,022,292	2,036,458
売上総利益	285,245	266,796
販売費及び一般管理費	242,849	235,704
営業利益	42,395	31,092
営業外収益		
受取利息	280	156
受取配当金	12	12
受取手数料	3,218	3,379
受取賃貸料	10,161	12,598
寄付金収入	15,100	100
助成金収入	-	23,352
その他	4,118	4,233
営業外収益合計	32,890	43,832
営業外費用		
支払利息	20,030	18,696
長期前払費用償却	698	750
その他	250	573
営業外費用合計	20,978	20,020
経常利益	54,308	54,904
特別利益		
投資有価証券売却益	1,103	-
特別利益合計	1,103	-
税引前四半期純利益	55,411	54,904
法人税、住民税及び事業税	17,946	4,252
法人税等調整額	9,150	8,136
法人税等合計	27,097	12,388
四半期純利益	28,314	42,515

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損判定、貸倒引当金）に与える影響は軽微であります。

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境への影響は、2022年度中は継続し、回復は早くても2023年度以降になると仮定しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、次期以降の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。